

令和5年10月13日
作成 高山 幸

終業式 後期始業式



10月6日（金）に前期終業式を行いました。6年、4年、2年の代表児童が、前期を振り返り、自分の成長を堂々と述べることができました。また、学級では担任から通知表『のびる子』を渡されました。ご家庭で『のびる子』を通して、4ヶ月間を振り返っていただけたことと思います。ありがとうございました。

10日（火）には、後期始業式を行いました。5年、3年、1年の代表児童が、後期がんばりたいことをしっかりと述べることができ、とても力強く感じました。

お返しいただいた『のびる子』にご家庭より一言をいただきました。保護者の方と連携しながら、一人一人が成長できるように力を尽くしてまいります。今後とも、よろしく願いいたします。



通知表『のびる子』

錦糸小では、通知表を『のびる子』として作成しています。その意味や思いについて、終業式で次のように話しました。

「6年間で12回手渡される『のびる子』には、自分自身で得意なことを伸ばす、お友達と助け合いながら伸ばすという、2つの意味があると考えています。『一人でがんばること』、『友達とがんばること』は、どちらも大切で、生きていく上で必要な力です。今日手渡された「のびる子」が、皆さんの成長や成果に繋がることを期待しています。」と。

令和5年度も折り返しの節目を迎えました。後期始業式、週末を迎える、開校105周年記念式典を大きな節目として、今後とも、教育活動の充実に尽くしてまいります。